

高知県工業技術センターだより

▶ 機能性食品に関する特別講演会を開催しました

6月2日に工業技術センター第1研修室にて、花王株式会社 生物科学研究所 第3研究室 室長 下豊留^{しもとよどめ}氏を講師としてお招きし、特別講演会「機能性食品開発の新時代」を開催いたしました。講演内容は、機能性食品の商品開発事例の紹介や保健機能食品に関するものでした。なかでも「特定保健用食品（トクホ）」や、本年4月から導入された「機能性食品」についての届出、受理がなされた商品の解説など、県外大企業からの貴重なご意見をうかがえる大変有意義なものでした。注目度が非常に高い内容ということもあり、講演には県内企業や大学関係者をはじめ、50名もの聴講者が集まり、大盛況の講演会となりました。



講演会の様子

センターでは、講演会・研修を開催しています。ぜひご参加ください！

工業技術センターでは、講演会をはじめ、実習を交えた研修などの人材育成を行っております。7月以降では、どぶろく製造技術研修（食品開発課）、金属材料の検査・分析に関する研修（生産技術課）、分析化学講座（資源環境課）などを予定しております。

研修の詳細や参加募集などは、当センターホームページのトップにて逐次掲載しています。お問い合わせは、各担当課にお気軽にお尋ねください。

食品開発課 088-846-1652 生産技術課 088-846-1653 資源環境課 088-846-1651

▶ カヤ種子油の共同研究成果を展示会に出展

6月3日～5日にパシフィコ横浜で開催された第7回化粧品産業技術展（CITE JAPAN 2015）において、高級アルコール工業株式会社（以下 HAI 社）のブースで当センターと共同研究している「カヤ種子油」が出展されました。今回出展されたカヤ種子油は、株式会社高知前川種苗（以下前川種苗）が育成している県内産のカヤの木の種子から採取されたもので、ヘアケア・スキンケア・メイクアップ製品への応用が期待されています。

カヤは、材木が碁盤などに利用され、種子は食用に使用されています。碁盤に使えるだけの大きなカヤの木を育てるのには何十年もの時間がかかります。

木が立派に育つまでの期間、種子が大量に収穫されます。前川種苗では、その種子を搾った油を食用油として販売してきました。

カヤ種子油は食用に限らず、古くから頭髮用油としても利用されてきました。

前川種苗からの依頼でカヤ種子油の化粧品材料への応用の可能性について検討していたところ、当センターの紹介で、HAI 社と共同研究をすることとなりました。HAI 社は化粧品や医薬品原料を取り扱っており、そうした原料として使用される油脂類についても詳しい企業です。こうして、2011年よりカヤ種子油の研究が本格的にスタートしました。

これまでの研究の結果、カヤ種子油には髪の毛から水分が失われるのを防ぐ力があること、それにより髪の毛のダメージケアの効果が期待されることが分かりました。研究成果の詳細は、FRAGRANCE JOURNAL の2015年4月号に掲載されております。

（代表執筆者は HAI 社の吉田麻史さん）

HAI 社は今後も研究を継続する予定です。当センターの方でも HAI 社の吉田さんを外部研究員として招き入れ、事業化に向けての共同研究を進めています。

※高知産カヤ種子油は収量に限りがあるため、HAI 社のカヤ種子油（製品名トレヤオイル）は当面、量を限定して販売されます。



カヤの実

写真は高知県産のもの



カヤ種子油

色味はきれいな黄色です。



HAI 社 展示ブースの様子